

【日本の大学】第 33 回——立命館大学：自由と国際主義掲げる総合学園

立命館大学は、公家の家柄で内閣総理大臣や文部大臣などを歴任した元老政治家・西園寺公望が明治時代の初めの 1869 年に創始した私塾「立命館」を淵源としている。私塾を開設したのは西園寺がまだ弱冠 20 歳の時で、場所は京都御苑の邸内であった。翌年には、学生たちの高談放論を危険とみなした太政官留守官が差止命令を出して閉塾を命じられたという。その年に西園寺はフランスに留学しソルボンヌ大学で学ぶなど 10 年を過ごし、その後も駐オーストリア＝ハンガリー帝国公使や駐ドイツ帝国公使を務めるなど、国際人として活躍した。



立命館憲章

以下、立命館大学のホームページなどから歩んできた歴史と現状を紹介しよう。

1900 年には、西園寺が文部大臣時代だった時の秘書の中川小十郎が「立命館精神」を受け継いで創立したのが、大学の前身となる「私立京都法政学校」である。同校は、勤労者のための夜学校だったが、その後、学制の変更により「私立京都法政専門学校」（1903 年）、「私立京都法政大学」（04 年）へと変更した後、1913 年に、西園寺の承諾を得て名称を「私立立命館大学」に改称した。中川は、西園寺の「自由主義と国際主義」の精神を引き継いで「自由にして清新」な学府、即ち、自由にして進取の気風に富んだ学園の創造を目指した。この精神は、立命館学園の建学の精神として受け継がれており、西園寺は「学祖」とされている。



中川小十郎 胸像(朱雀キャンパス)

校名は「孟子」に由来

校名の由来は中国の古典「孟子」から取られた。「孟子」の盡心章（じんしんしょう）の一説にある「妖寿（ようじゅ）たがわず、身を修めて以て之を俟（ま）つは、命を立つる所以（ゆえん）なり」から採ったもので、「人間には、若死にする人もあれば、長生きする人もあるが、それはすべて天命で決められていることである。だから生きている間はわが身の修養（勉学）に努めて天命を待つのが人間の本分を全うすることなのである」という考えからきている。したがって「立命館」は人間がその本分をまっとうするための場所を意味しているという。名称が「孟子」の中の一説にちなんでいることから、2005年には、中国政府から立命館に対して孟子の石像が寄贈され、朱雀キャンパスに置かれている。

立命館学園では、西園寺が私塾「立命館」を開設した1869年を創始の年、中川が京都法政学校を設立した1900年を創立の年と規定している。2020年には創始150年、学園創立120周年を祝っており、「立命館」は日本の近代教育史の中で歴史と伝統を誇る私立総合学園であると言えよう。

1922年には大学令による「立命館大学」（旧制）に昇格するとともに、法学部（法律学科、経済学科）、研究科、予科を設置し、その後、専門学部（法律科、経済科）、予科、文学部、商学部などを設置した。

戦前で特筆すべきは、自由主義的主張によって京都大学を追われた滝川幸辰法学部教授

の事件（京大事件）の際、抗議して辞職・退官した教員 18 名を受け入れるなど、日本で国家主義的傾向が強まる中で、時代の潮流に抵抗する動きを見せたことだろう。



立命館その由来の碑（衣笠キャンパス）

京大事件連座の末川氏を総長に

さらに、1945年の終戦後まもなく、同事件に連座した末川博氏を総長に迎え、第二次世界大戦と「十五年戦争」に対する深い反省に立って、憲法と教育基本法に基づく「平和と民主主義」を教学の理念として掲げるとともに、さまざまな改革が実施された。行った改革としては（1）「社会に開かれた大学」を目指して市民を対象にした立命館土曜講座など公開講座の開催（1946年開始）（2）理事会・教授会・学友会・教職員組合などすべての学園組織と学制の代表を加えた全学協議会制度を創設、学園運営の重要事項の合意を形成（1948年創設）（3）理事者・評議員・専任教職員・学生・生徒からなる全学代表による総長公選制の導入（1949年開始）——などである。

戦後の学校教育法による新制の立命館大学の発足は1948年である。法学部、経済学部、文学部の3学部が置かれた。翌年には理工学部が設置され、50年には大学院が置かれた。その後も、新設学部の設置とキャンパスの移転が実行された。経営学部設置（1962年）、夜

間部（二部）の文学部や、経営学部、基礎工学部（理工学部）の設置が1964年から行われ、1965年には産業社会学部が新設された。キャンパスの移転では、65年に経済学部、経営学部を手始めに70年代に掛けて、京都市内の広小路にあった各学部が市内西北部の衣笠キャンパスへ次々に移り、81年には全学部の移転が完了している。

その後も学部、大学院の新設・拡充が続いた。国際関係学部（1988年）、政策科学部（1994年）の開設や、理工学部には生物工学科、環境システム工学科の設置（94年）などが実施された。学部・学科の新設に伴い、衣笠キャンパスが手狭になったことから、滋賀県草津市にびわこ・くさつキャンパスを開設（94年）して、理工学部を移転、衣笠には同時に政策科学部を開設している。



衣笠キャンパス

多彩な学部が誕生

21世紀に入っても、次代のニーズに対応する形で、学科や研究科の設置や学部の新設が続いた。2004年には情報理工学部を設置、07年に映像学部、08年に生命科学部・薬学部、18年に食マネジメント学部、19年グローバル教養学部を設けるなど拡大を続けている。

現在は、16の学部と18の大学院研究科を持っている。大学本部のある衣笠キャンパスには、法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、映像学部の5学部、びわこ・くさつキャンパスには、経済学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部、理工学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部の7学部、大阪いばらきキャンパス（2015年開設）には、経営

学部、政策科学部、総合心理学部、グローバル教養学部の4学部がそれぞれ置かれている。また、大学院は、衣笠キャンパスに7研究科が、びわこ・くさつキャンパスに7研究科（食マネジメント研究科は2021年4月に開設）、大阪いばらきキャンパスには四つの研究科がある。さらに大阪いばらきキャンパスと朱雀キャンパス（2006年開設）には、経営管理、法務、教職といった専門職大学院が別途設置されている。



大阪いばらきキャンパス

このように多くの大学が持っている既存の学部のほかに、食マネジメント学部、スポーツ健康科学部、総合心理学部、グローバル教養学部など、学ぶ内容や方向性が明確で具体的な学部が多くあることだろう。

食マネジメント学部では「人と社会のつながりを『食』から学ぶ」、「世界をおいしく、おもしろく」をコンセプトに、食を通して、人や社会、地域、海外などとのつながりを、技術、文化、経営の各面から学ぶことを狙っている。スポーツ健康科学部は、国際連携、地域連携、国内外のスポーツ界及び産業界との連携、カレッジスポーツとの連携など様々な連携型教育を推進するとして、四つのコースを設けて学びを深める。スポーツ科学コース、健康運動科学コース、スポーツマネジメントコース、スポーツ教育学コースである。

総合心理学部は、心理系学部として最大級の入学定員（280名）があり、基礎、応用、臨

床といった心理学の基本的分野を総合的に学修する。「認知・行動」、「発達・支援」、「社会・共生」という3コースで専門分野を系統的に学んでいく。グローバル教養学部では、オーストリア国立大学（ANU）と提携し、すべて英語による4年間の学びの精華として、立命館大とANUの二つの学位を取得できるとしており、21世紀のグローバル市民にふさわしい主体性を身につけるためのリベラル・アーツを学び、ANUでの学びでは、アジア太平洋地域についての知識を深める。

多彩な学部が多いだけに、受験の方式も多様で、各学部では受験の機会を多く与えようとさまざまな入試方式を打ち出している。一般入試のほかに、総合型選抜では「AO選抜」「文化・芸術活動に優れた者」「スポーツ能力に優れた者」、帰国生徒を対象とした入試、学校推薦型など、多岐にわたっている。



アメリカンフットボール部

立命館は憲章の中で「国際相互理解を通じた多文化共生の学園を確立する」と謳っており、世界の多様な国・地域などから、多様な個性と能力を持った学生、教職員が集い、互いを尊重し、高め合うことのできる「知のコモンズ」がある、として、世界とアジアの中で真の信頼と友情を育む人づくりに貢献する、と宣言している。

日本への留学に関しては、(1)半年間または1年間学ぶ短期留学受け入れプログラム(2)2週間~5週間の短期研修で日本語・日本文化を学ぶプログラム(3)日本人学生とともに授業を受け4年間かけて学位を取得する留学生入試(4)国際関係学部などでは英語のみで学位を取得するAO英語基準入試——を実施している。(詳細は大学の入試情報サイトを参照)外国人留学生受けに、合格点数の高さに応じて授業料を減免する制度もある。



卒業式

現在、立命館学園では、立命館大学と九州・大分県にある立命館アジア太平洋大学という二つの大学と、立命館小学校、立命館森山中学校・高等学校、立命館中学校・高等学校、立命館宇治中学校・高等学校、立命館慶祥中学校・高等学校という五つの付属校を持っている。

立命館大学の教員数は1416名(うち女性332名)、学生数は32243名(うち女子11966名)である。また、正規の留学生数は、中国、韓国などアジアを中心に大学、大学院を合わせて2378名となっている。(2020年5月現在)

現在の学長は大学の情報理工学部教授でもある仲谷善雄氏である。大阪大学人間科学部人間科学科を卒業し、神戸大学で学術博士を取得、立命館大学では情報理工学部の副学部長、理工学研究所等、情報工学部長、学校法人立命館理事・評議員、同副総長などを務めている。

専門は防災情報システム、人工知能、認知工学などである。



2020年度立命館大学卒業式・大学院学位授与式、仲谷善雄氏学長はセンターに

文：滝川 進

写真：立命館大学 HP&Facebook